

5-1 東海・南関東地域の地震活動（1994年11月～1995年4月） Seismic Activity in the Tokai and Southern Kanto Districts (November, 1994-April, 1995)

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第1図(a)～(f)は1994年11月～1995年4月の東海・南関東地域における月別震央分布図、第2図(a)、第2図(b)は1994年11月～1995年1月と1995年2月～4月の3か月毎の震央分布図を示す。いずれも震源の深さが90km以浅の地震の震央を示してある。第3図は1994年11月～1995年4月の主な地震の発震機構解である。なお参考までに、第4図に東海・南関東地域とその周辺の地震活動について1990年1月から1994年12月まで5年間のものを示した。

この期間、特筆すべきは4月18日の駿河湾北部の地震(M5.1)である。駿河湾内のM5クラスの地震は1931年以來のことであり、同地震の震源が東海地震の想定震源域に含まれることから注目された。しかし、この地震の余震活動はまもなく終息し、周辺の体積歪計の観測点においては地震時の変化以外、顕著な変動は見られなかった(本巻別項参照)。また、11月頃伊豆半島北部から伊豆諸島にかけての広い範囲で地震活動があった。

各月の活動状況は次の通り。

1994年11月：新島・神津島付近で6日頃からM4クラスの地震を含む活動があったのをはじめ、10日頃からは箱根付近でM1～2クラスと小規模ながら若干まとまった活動、伊豆半島東方沖では中旬にM3.7を最大とする活動、そして三宅島近海(御蔵島と八丈島間)では8日のM5.1を最大とする活発な活動と、東経139度線付近で伊豆半島北部から伊豆諸島を含む広い範囲で地震が多発した(本巻別項参照)¹⁾。また、岐阜県南部と奈良県中部でそれぞれM4クラスの有感地震があった。

1994年12月：新島西方沖および神津島付近で先月に引き続き若干の地震活動があった。このうち9日の神津島付近の地震は正断層型の発震機構解を示している。19日には11月に活動のあった箱根の北側付近でM3.6を最大とする地震活動があったのをはじめ、東京都西部でもM4.4(深さ16km)の有感地震(熊谷で震度3)があった。伊勢湾付近では23日にM4.6(深さ42km)の地震があり、名古屋と津で震度3を観測した。一方房総半島周辺では、房総半島南東の沖合(8日)と銚子付近(10日)で、ともにM4.3の地震があった。

1995年1月：1日に東京湾を震源とするM4.8の地震があり、小田原市で震度4、千葉と網代で震度3等となった。茨城県沖で10日M6.2の地震があり、水戸、銚子、日光、柿岡で震度3を観測した(本巻別項参照)。また、これに先立ち茨城県南西部で7日にはM5.4の地震が発生し、水戸、日光などで震度4を観測している。これらの地震はともに太平洋プレートの沈み込みに伴うもので、逆断層型の発震機構を示す。新島と神津島の間では13日から16日にかけてM5.0を最大とする活動があった。17日には兵庫県南部でM7.2の地震が発生したが、第1図(c)の左端に7時38分M4.9の

余震が見られる。

1995年2月：特に目立った活動は無いが、静岡県内で昨年9月末の富士川付近のM3.0の地震以来のM3クラスの地震が3個発生している。

1995年3月：新島付近では2月末頃からの活動が続いている。長野県西部では17日にM5.1の地震が起こったが、この地震の震源は1984年9月のM6.8の地震の震源域の南にあたる場所で、1994年初め頃から活動が見られるようになった（本巻別項参照）。この他23日には茨城県南西部でM5.1の地震が発生している。

1995年4月：18日に駿河湾北部でM5.1の地震が発生した。この地震では小田原と静岡で震度4になったのをはじめ、御前崎、横浜等で震度3、軽井沢、彦根、神津島などでも有感になるなど、広い範囲で地震が感じられた（本巻別項参照）。

参 考 文 献

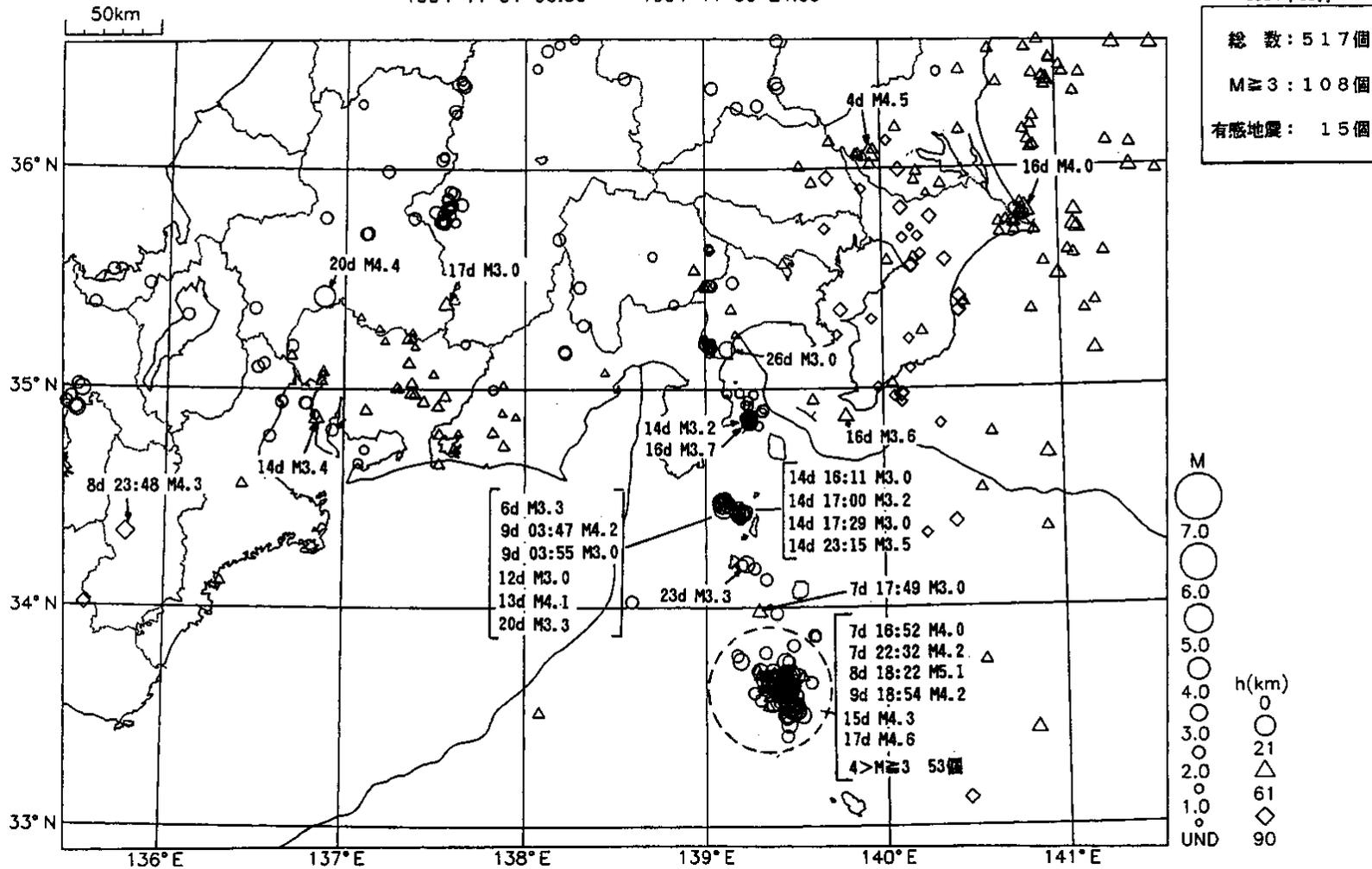
- 1) 気象庁地震予知情報課：伊豆半島およびその周辺の地震活動（1994年5月～10月），連絡会報，**53**（1995），314-322.

(a)

東海・南関東地域の地震活動

1994 11 01 00:00 -- 1994 11 30 24:00

1994年11月



【暫定】

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

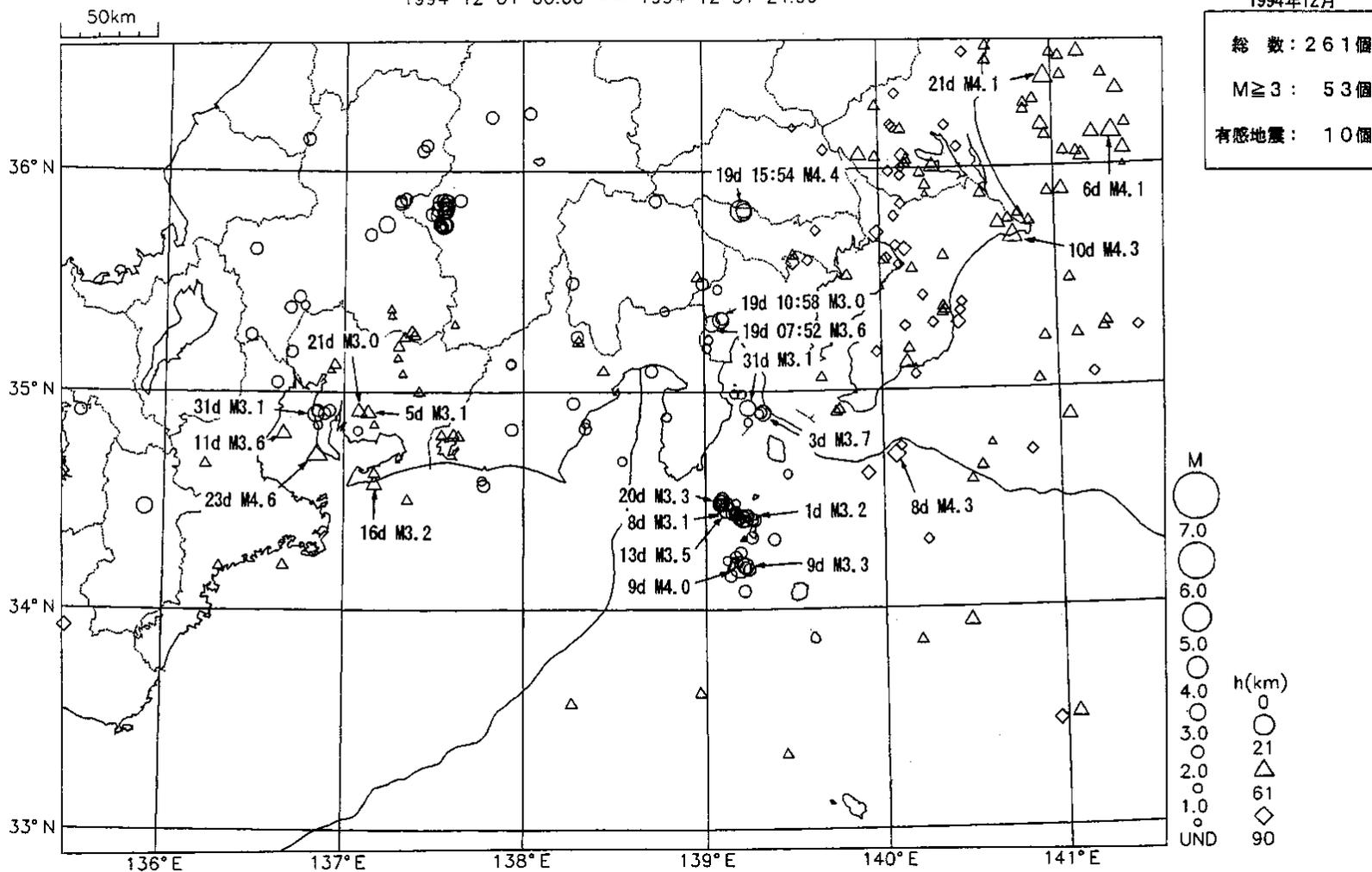
第1図(a)~(f) 東海・南関東地域に発生した地震の月別震央分布 (1994年11月~1995年4月)

Fig.1 (a)-(f) Monthly earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for November, 1994-April, 1995.

(b)

東海・南関東地域の地震活動

1994 12 01 00:00 -- 1994 12 31 24:00



[暫定]

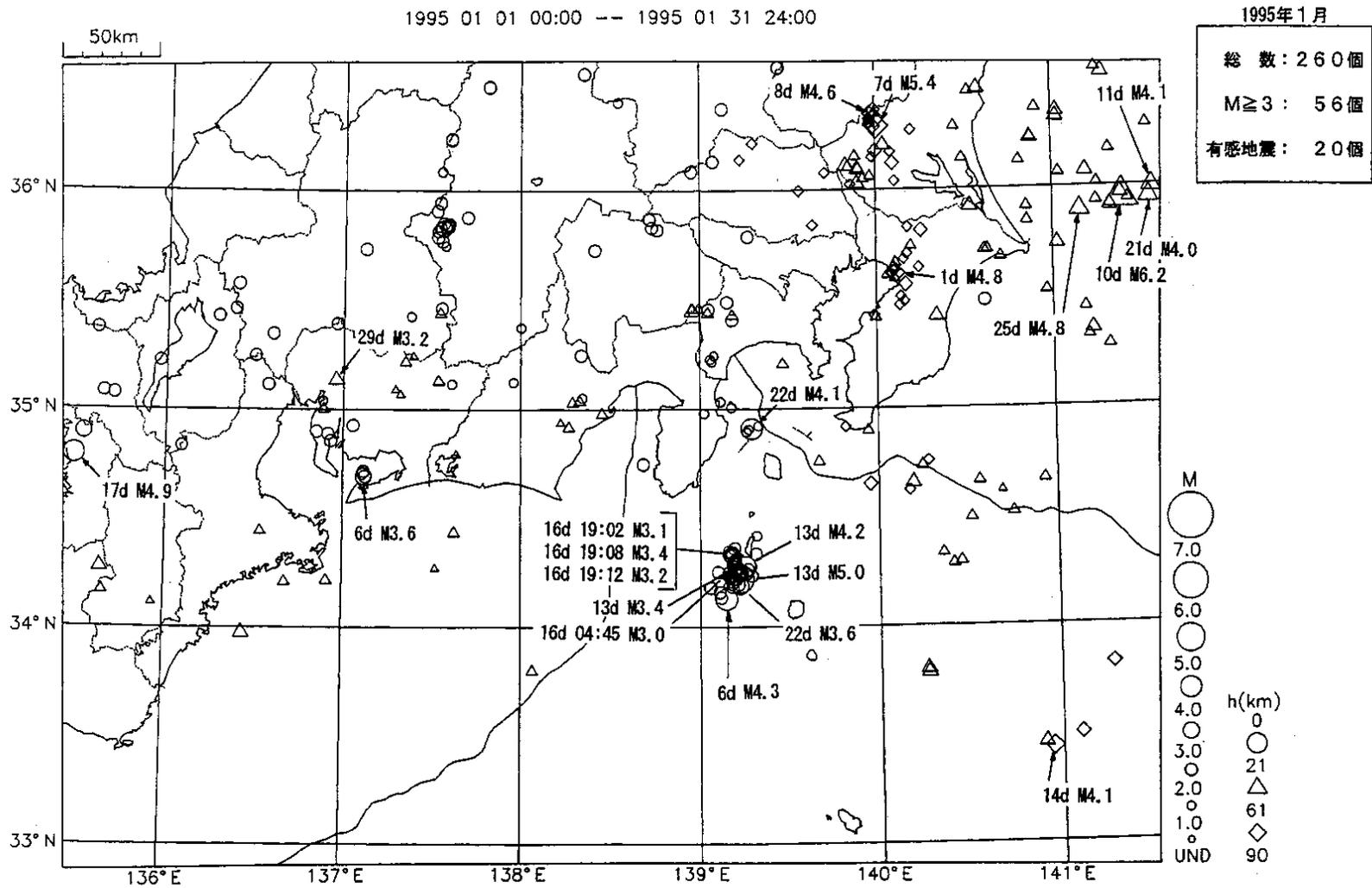
(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 つづき

Fig.1 (Continued)

(c)

東海・南関東地域の地震活動



[暫定]

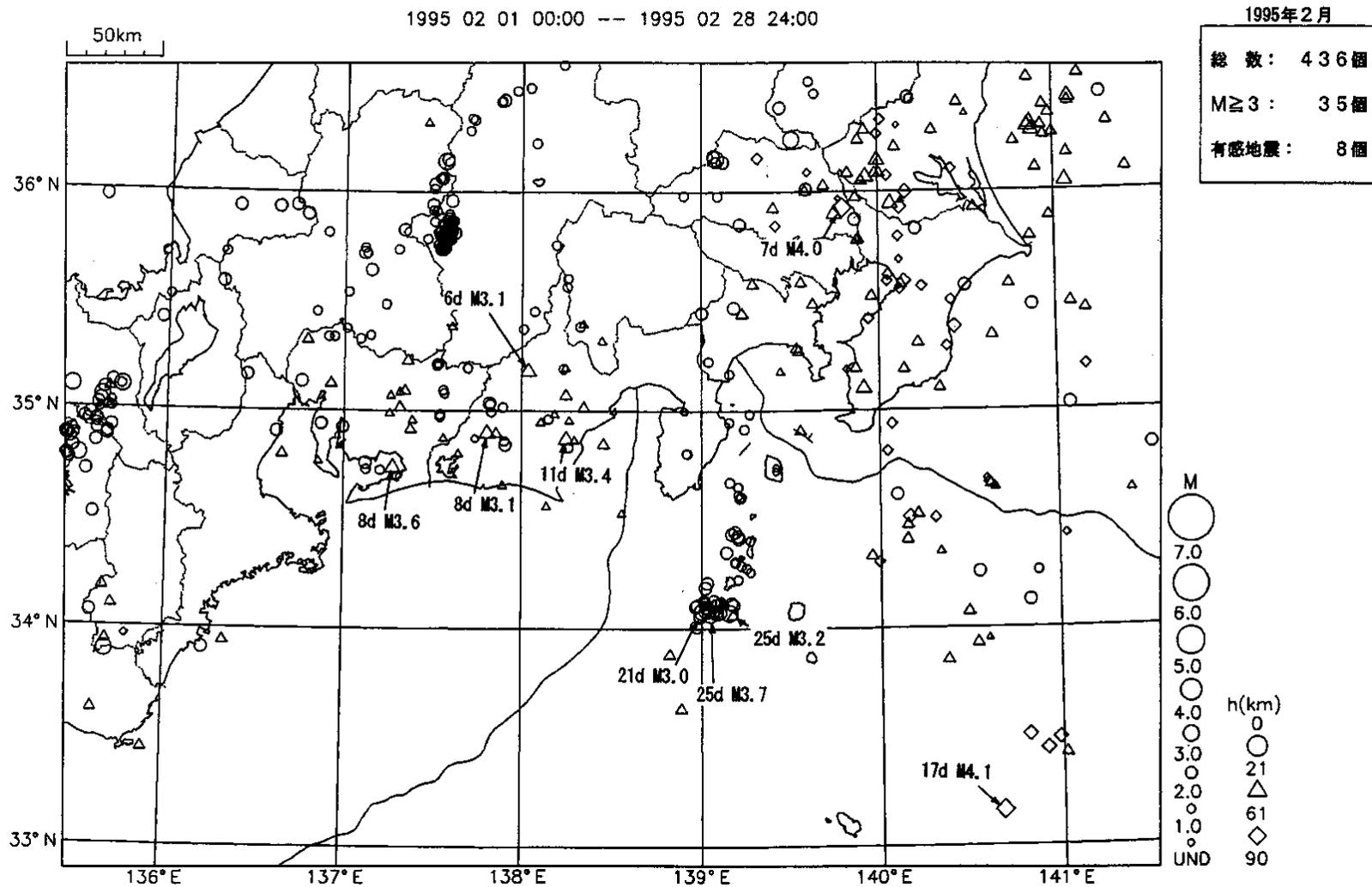
(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 つづき

Fig.1 (Continued)

(d)

東海・南関東地域の地震活動



[暫定]

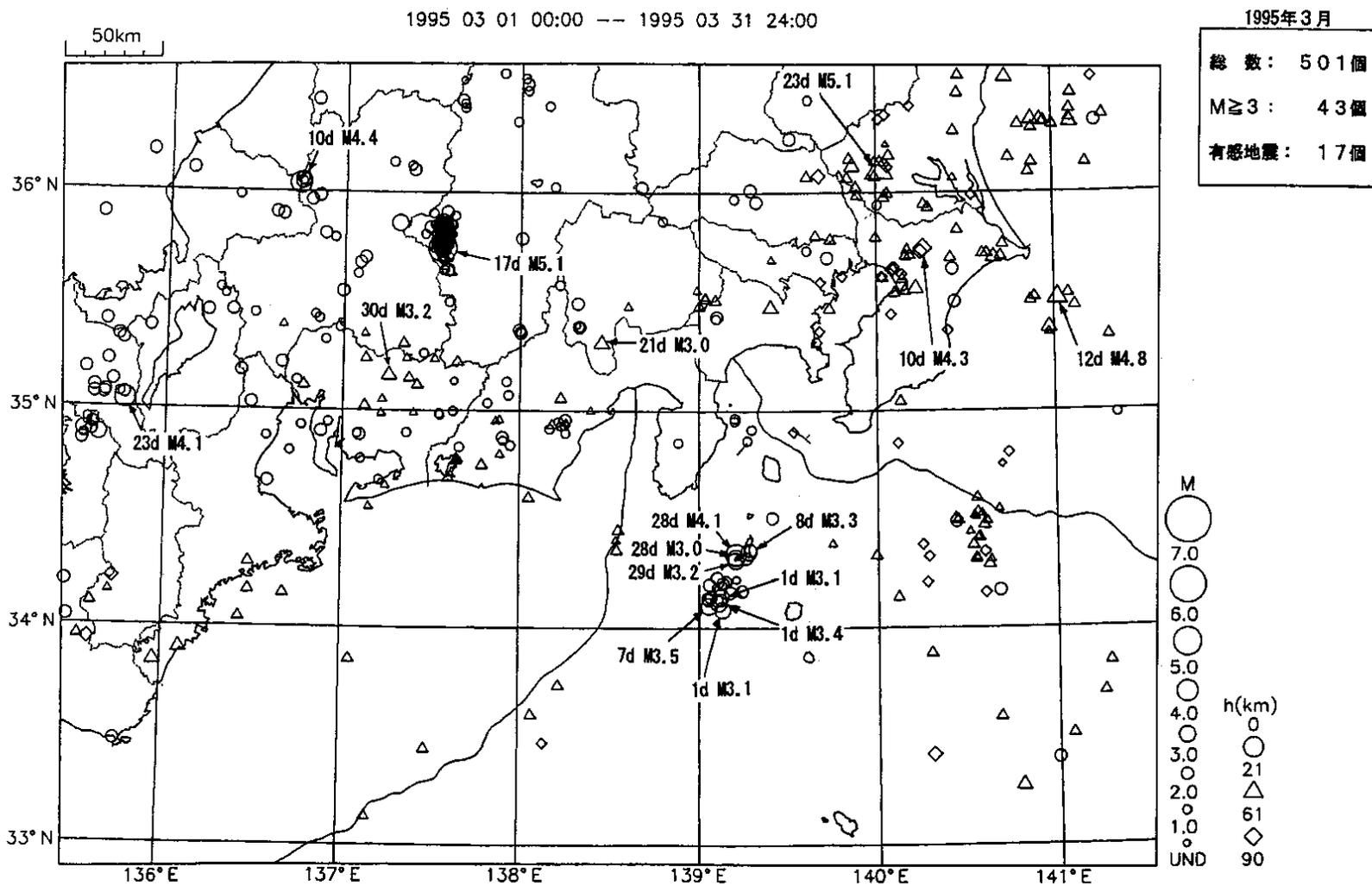
(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第1図 つづき

Fig.1 (Continued)

(e)

東海・南関東地域の地震活動



[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

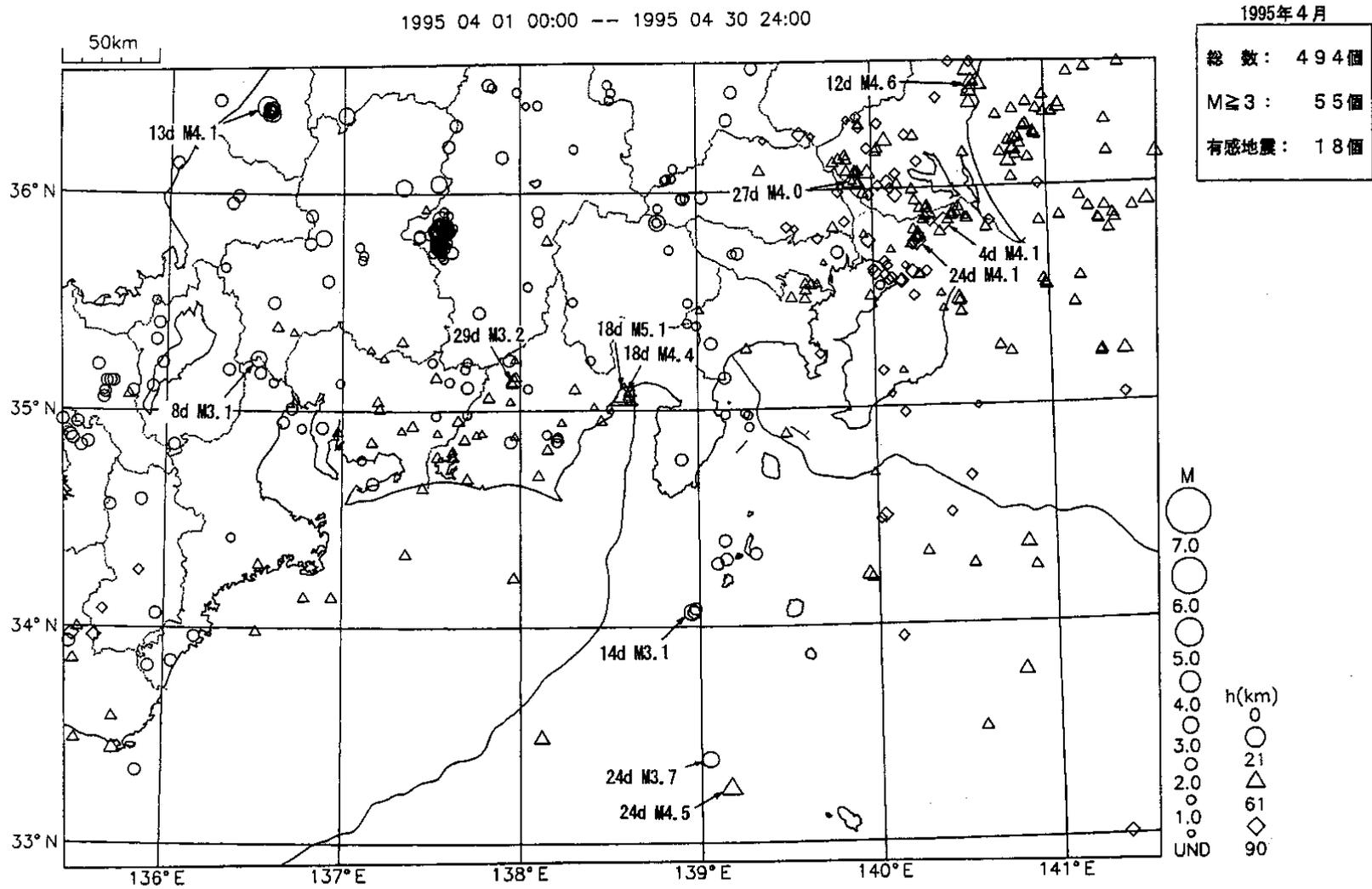
第1図 つづき

Fig.1 (Continued)

(f)

東海・南関東地域の地震活動

1995 04 01 00:00 -- 1995 04 30 24:00



[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

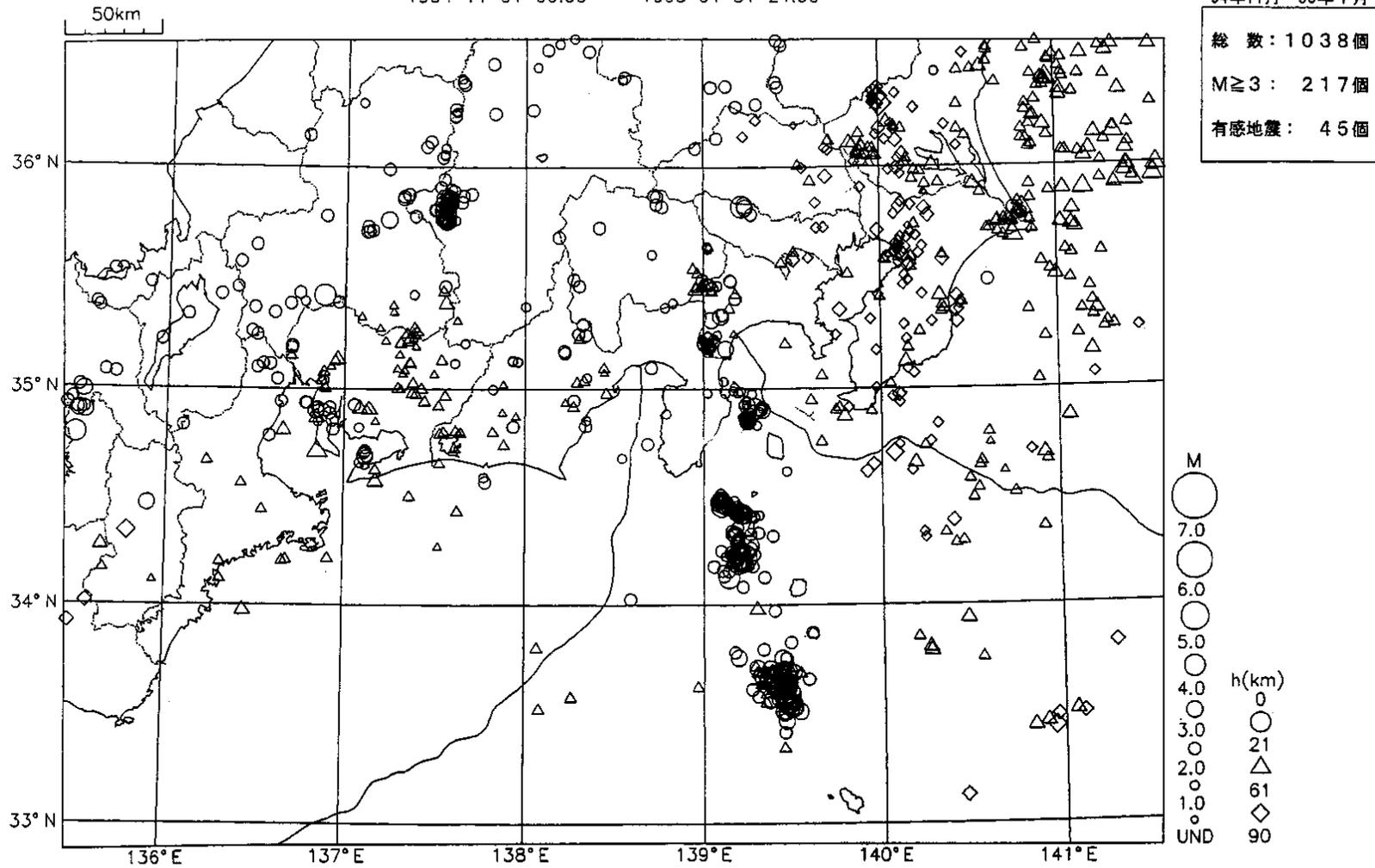
第1図 つづき

Fig.1 (Continued)

(a)

東海・南関東地域の地震活動 (3か月間)

1994 11 01 00:00 -- 1995 01 31 24:00



【暫定】

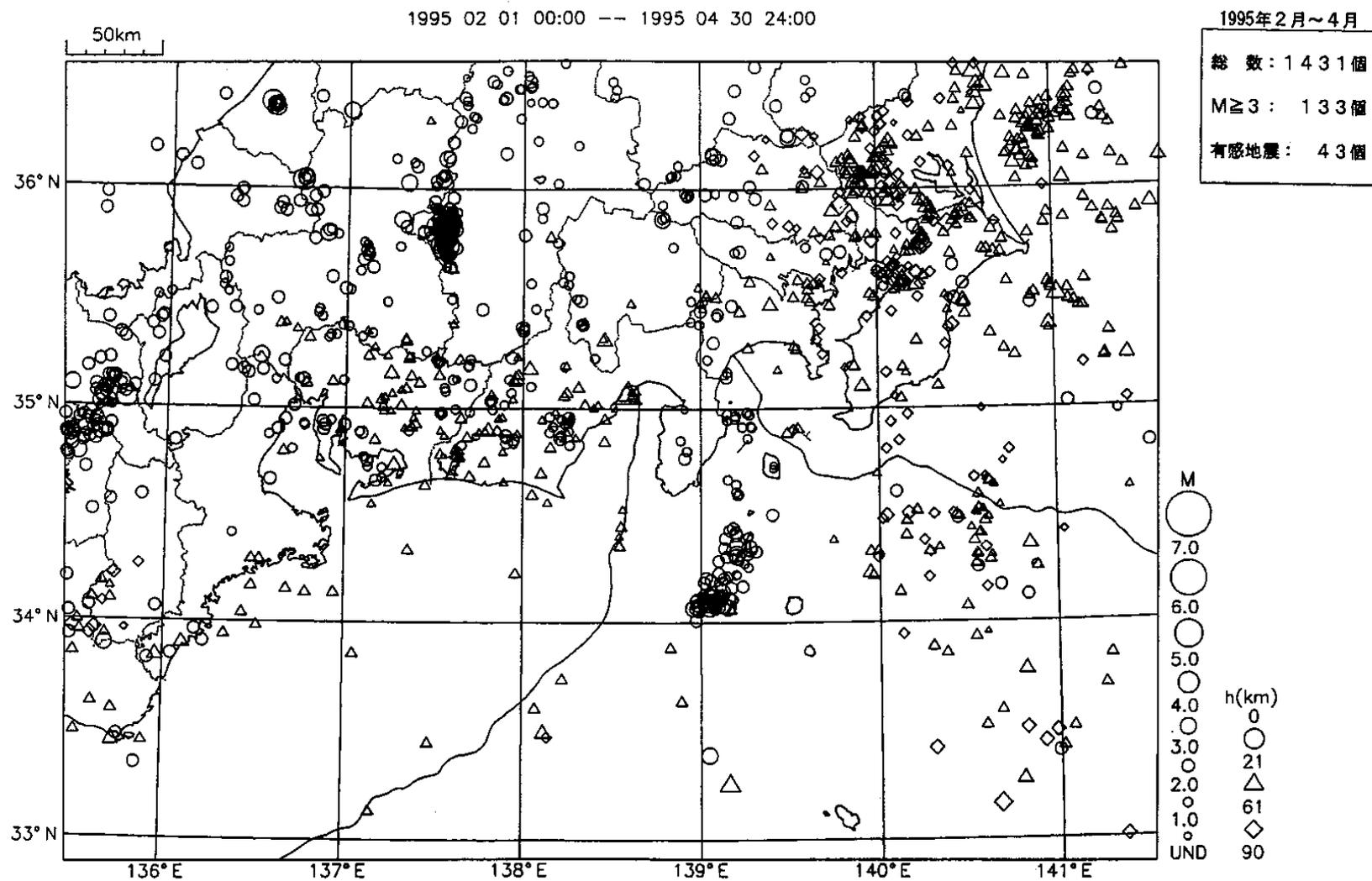
(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第2図 東海・南関東地域に発生した地震の3か月毎の震央分布 ((a)1994年11月~1995年1月, (b)1995年2月~4月)

Fig.2 Quarterly earthquake epicenters in the Tokai and Southern Kanto Districts for (a) November, 1994-January, 1995 and (b) February-April, 1995.

(b)

東海・南関東地域の地震活動 (3か月間)

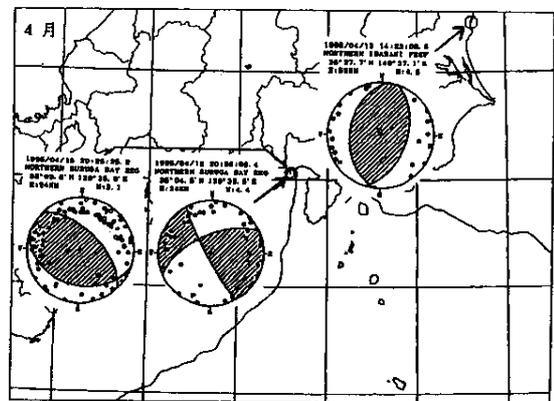
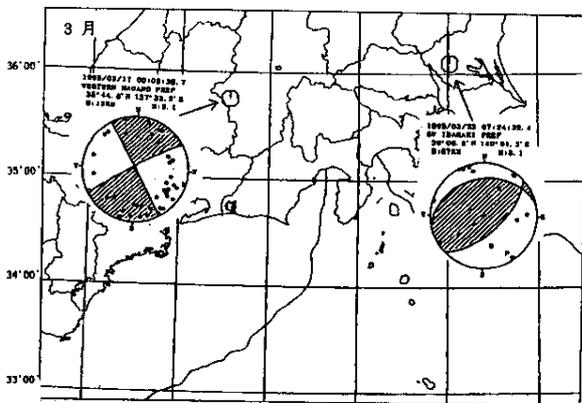
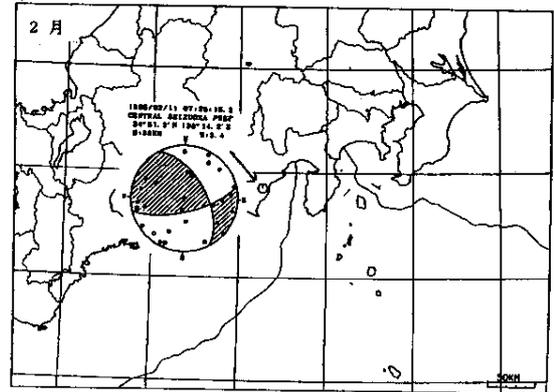
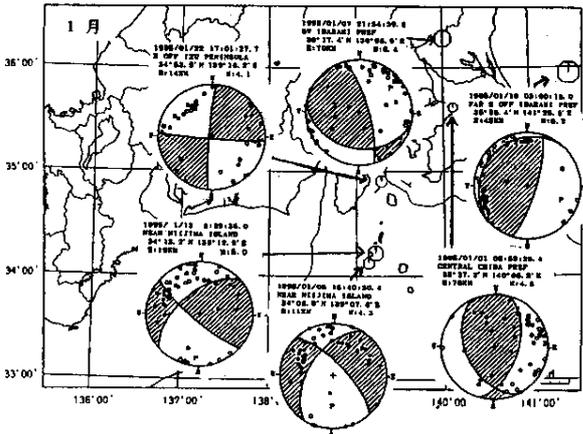
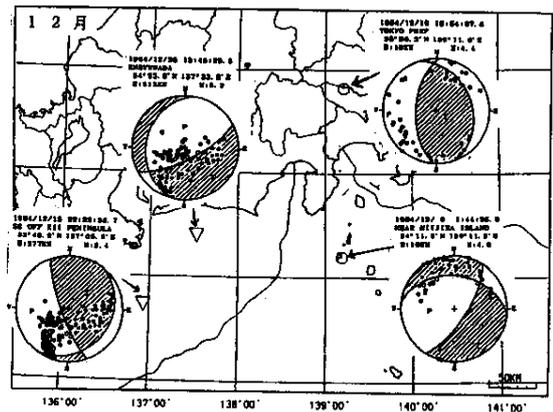
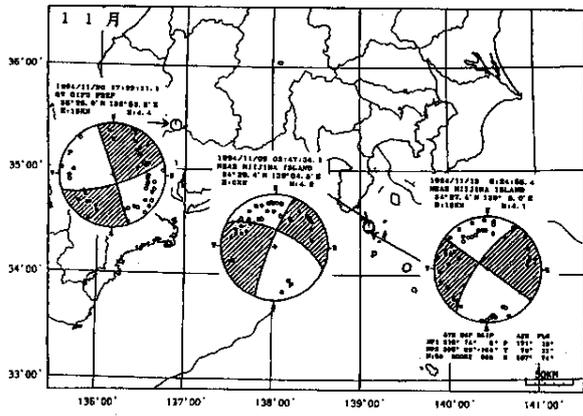


[暫定]

(気象庁, 東京大学, 名古屋大学, および防災科学技術研究所のデータを使用)

第2図 つづき

Fig.2 (Continued)

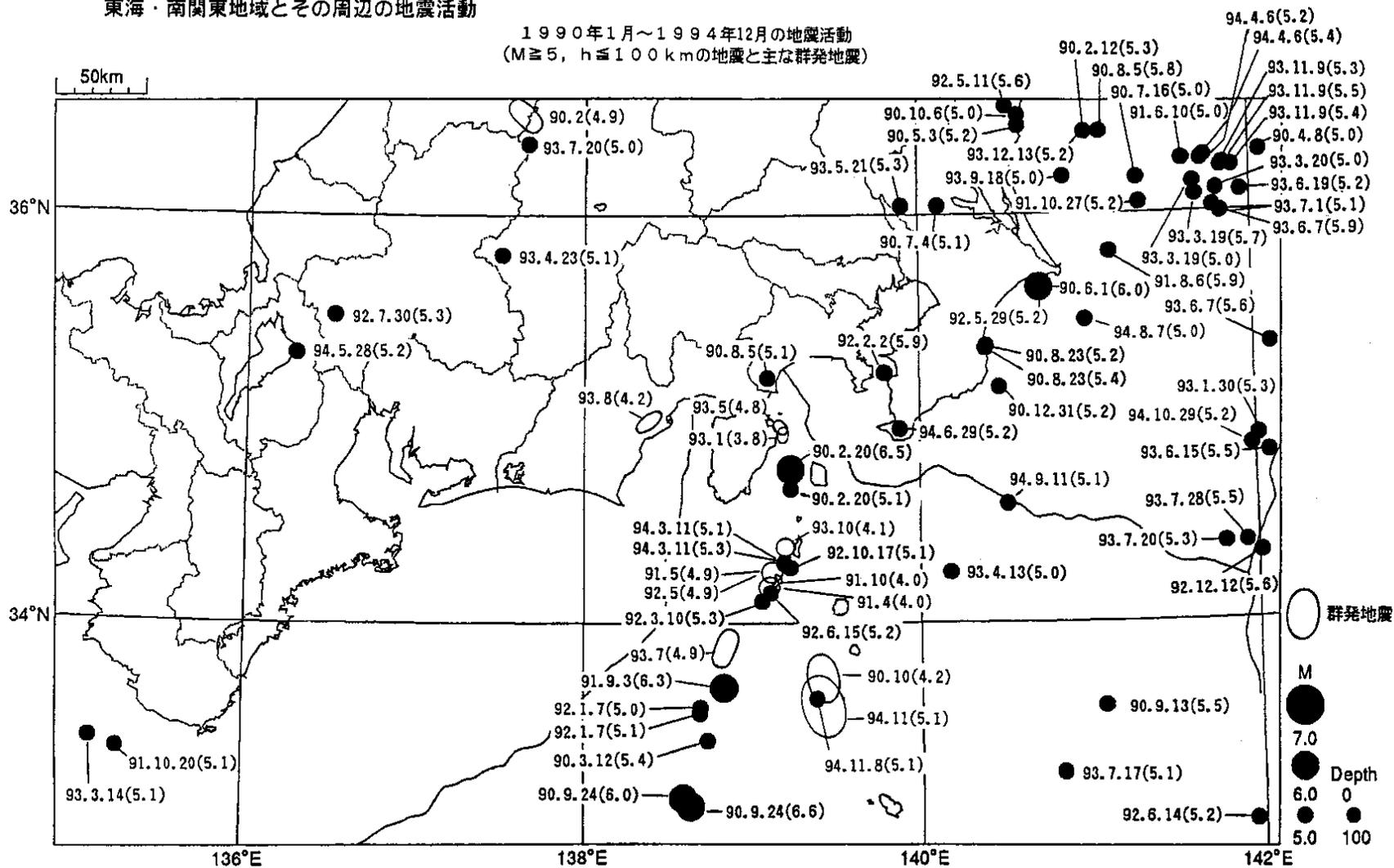


(下半球等積投影)
 (気象庁、東京大学、名古屋大学、防災科学技術研究所のデータを使用)

第3図 東海・南関東地域に発生した主な地震の発震機構解 (1994年11月~1995年4月)

Fig.3 Focal mechanism solutions of main earthquakes in the Tokai and Southern Kanto districts for November, 1994-April, 1995.

東海・南関東地域とその周辺の地震活動



[暫定] 1994年10月～12月

注：図の'群発地震'は $M \geq 4$ の地震が1個以上、 $M \geq 3$ の地震が5回/日以上、

$\Delta M = M_1 - M_2 \leq 0.5$ 、地震総数 ≥ 10 回が大体の目安。

第4図 東海・南関東とその周辺の地震活動 (1990年1月～1994年12月)

Fig.4 Seismic activity in the Tokai and Southern Kanto districts and the vicinity for January, 1990-December, 1994.